

農業施策と今後の経営意向に関するアンケート調査の概要

調査目的

川口市の農業者の皆様の現状や今後のご意向を把握し、農業施策を進めていくための資料として活用することを目的とし、認定農業者を対象に調査を行いました。

調査対象

川口市が認定している認定農業者 41 経営体（令和8年4月1日現在）

調査期間

令和8年6月15日～令和8年6月30日

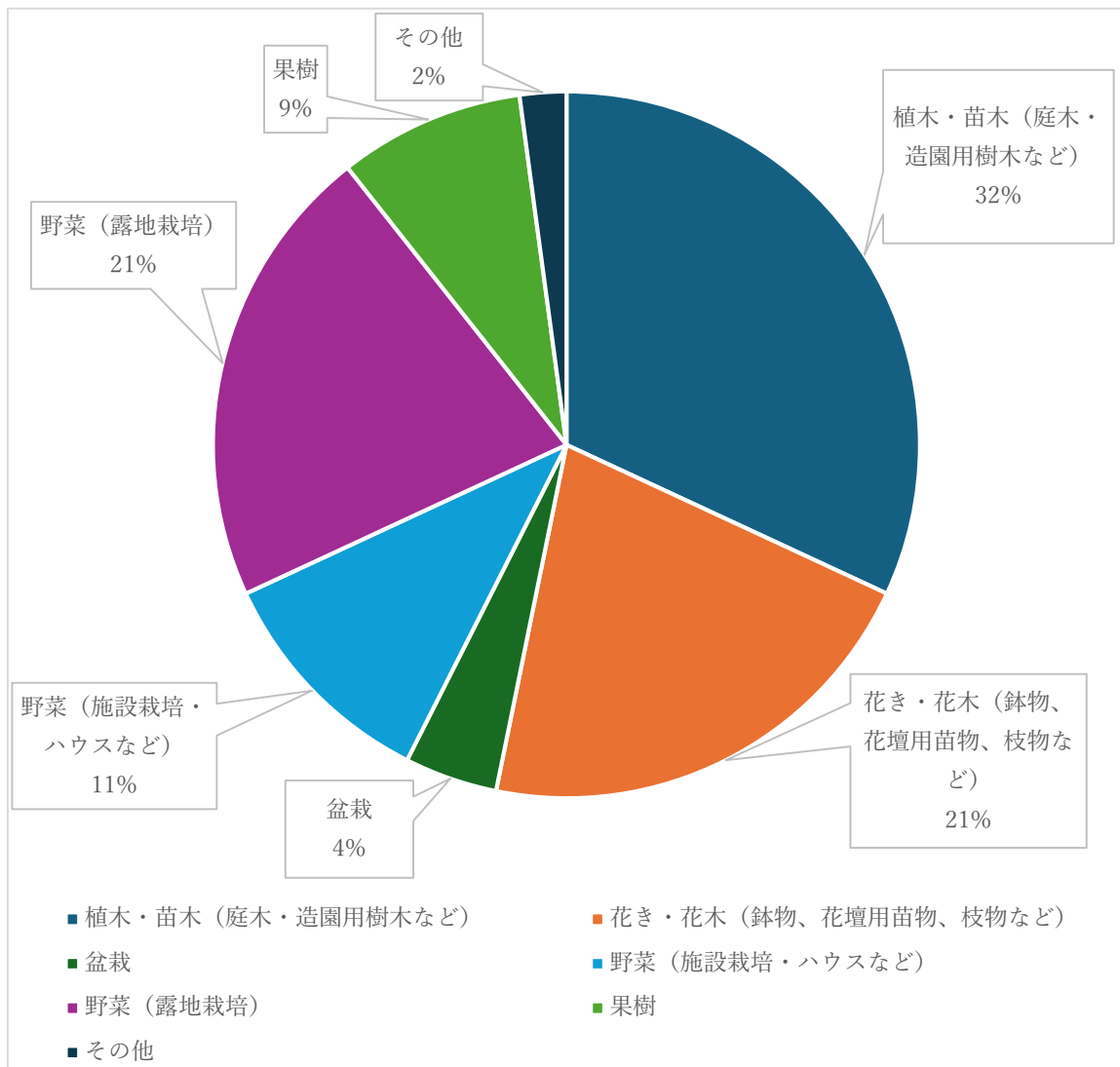
回収結果

回収数 30 件

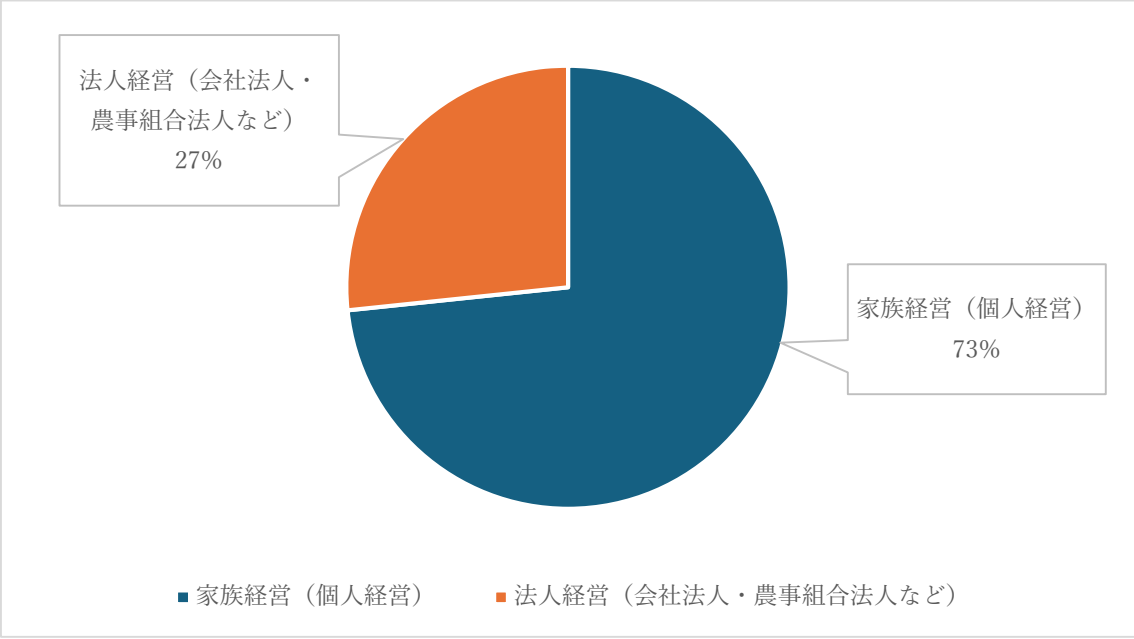
回収率 73.1%

第1部 営農状況について

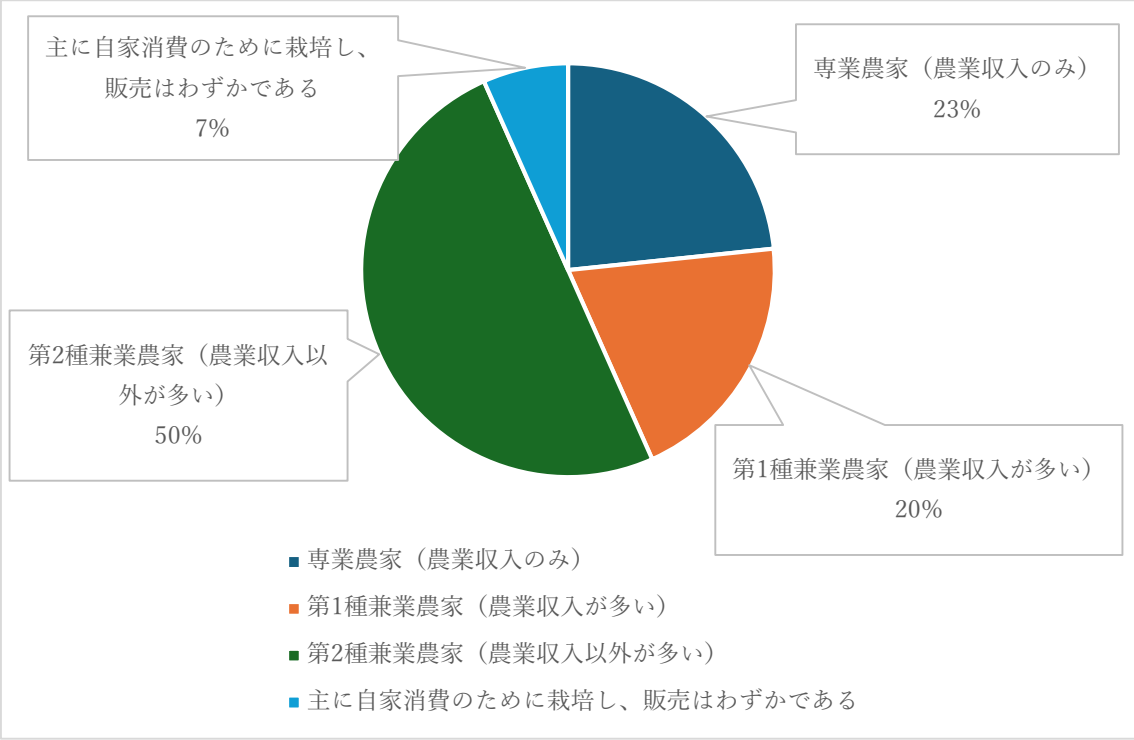
現在、販売目的で主に栽培している品目を選んでください。（複数回答可）



現在の農業の「経営形態」について教えてください。

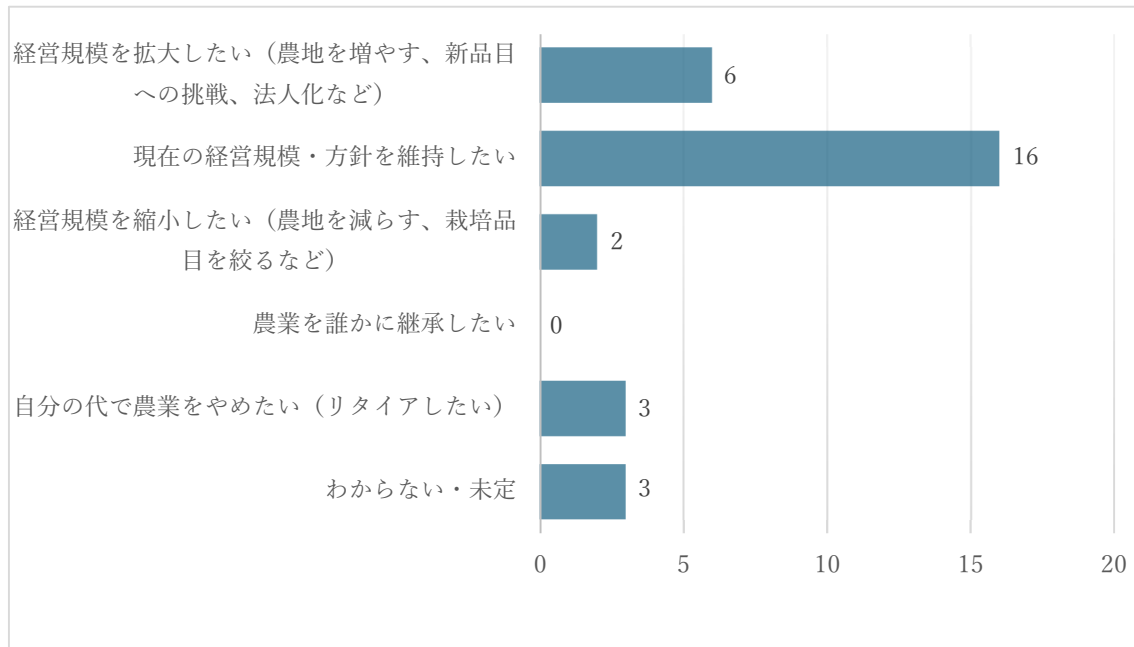


あなたの農業への関わり方（専業・兼業の状況）について教えてください。

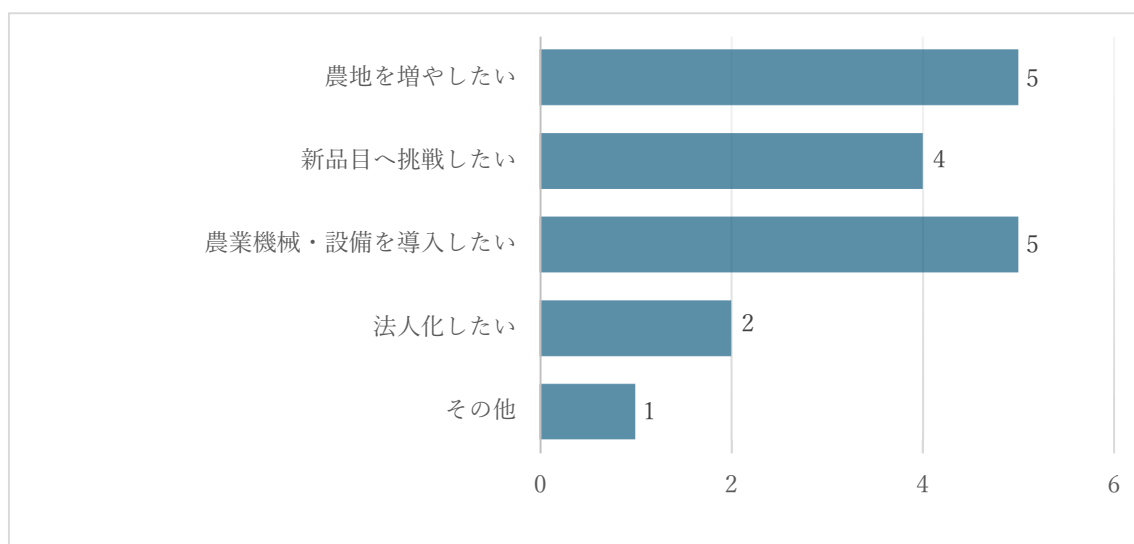


第2部 今後の営農意向について

今後（５～１０年後）の農業経営をどのようにしていきたいとお考えですか。



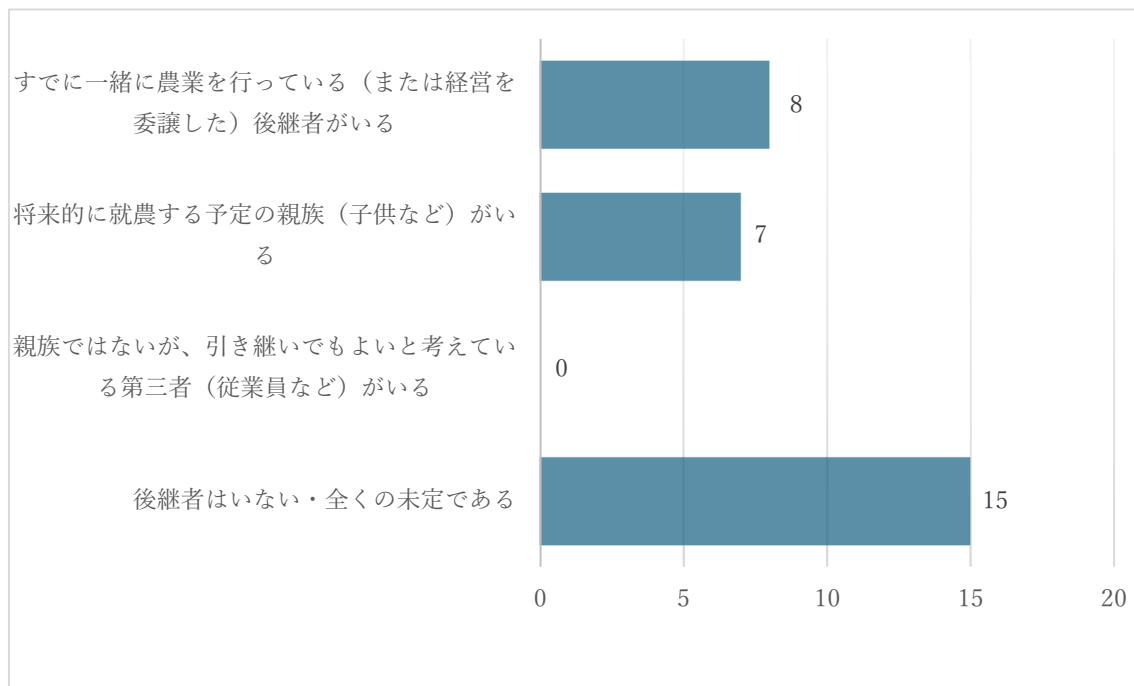
（経営規模を拡大したいと答えたかたで）どのような規模拡大をお考えですか。（複数回答可）



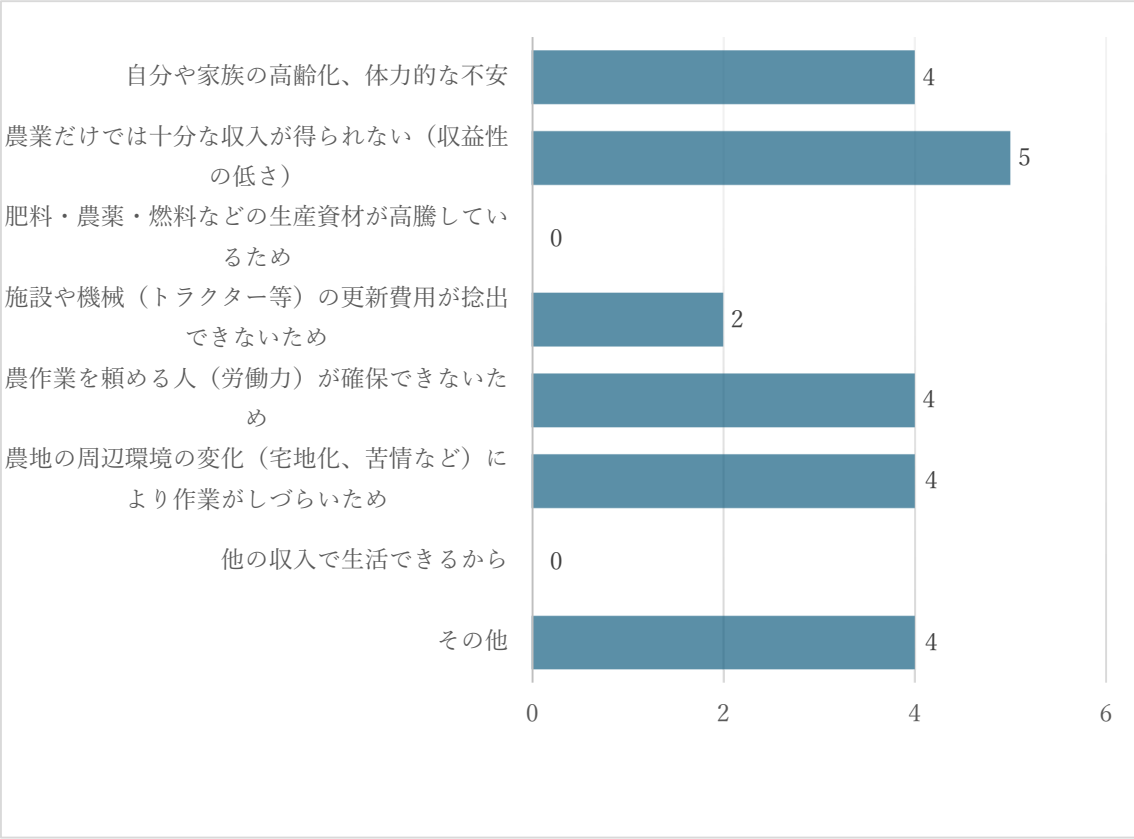
その他のご意見

制度などを上手く使い、継続性のある安定した事業にしたい。

現在、あなたの農業を引き継ぐ「後継者」はいますか。



（「縮小したい」「誰かに継承したい」「やめたい」または「後継者はいない」と答えたかた）その最も大きな理由は何ですか。（最大2つまで）

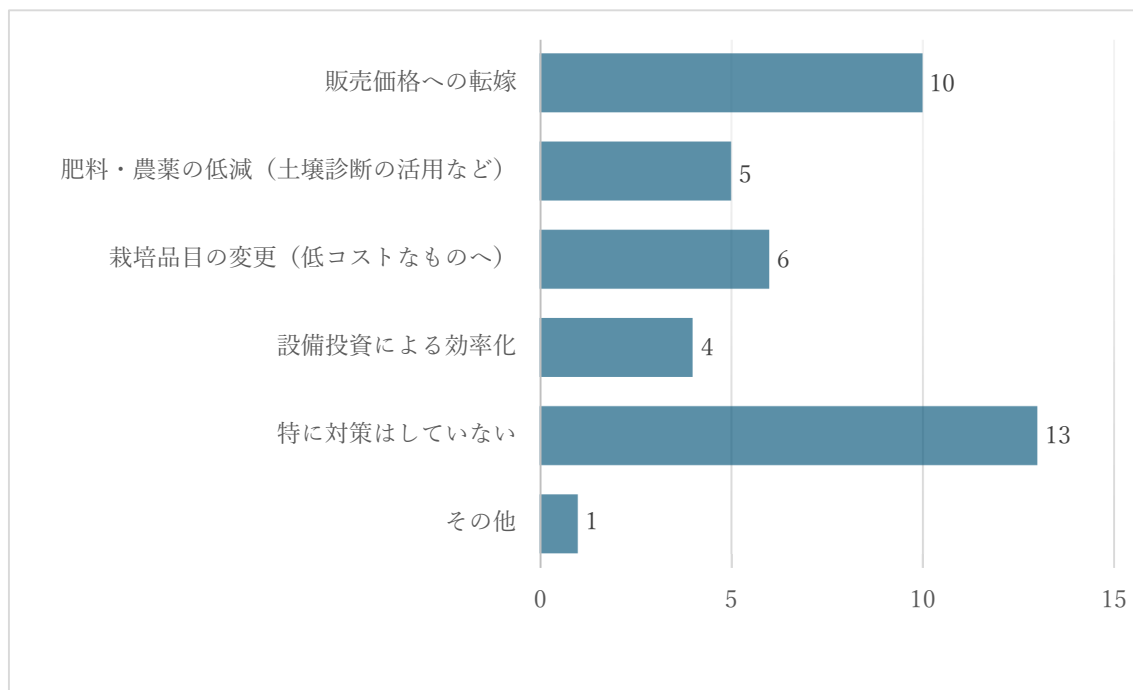


その他のご意見

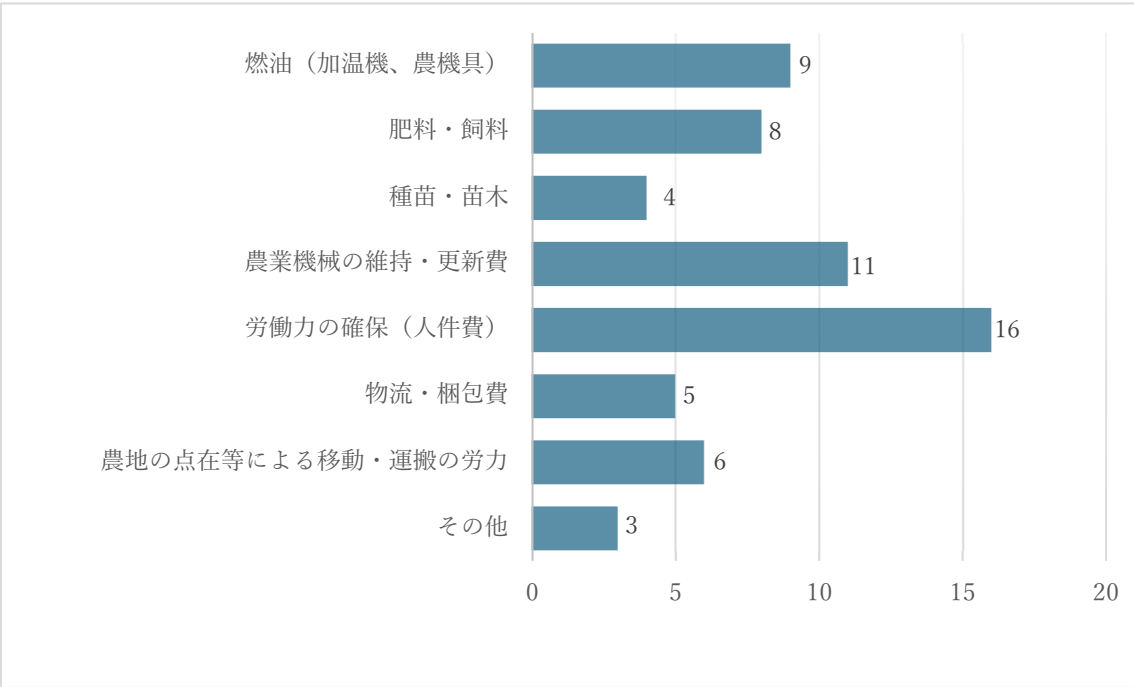
後継できる社員を募集、育成中
固定資産税が多額である
継続が前提ではない

第3部 経営課題とコスト高騰への対応について

昨今の資材・エネルギー価格の高騰に対し、どのような対策を講じていますか。（複数回答可）



現在の経営において、最も負担となっているコスト等は何ですか。（最大3つまで）

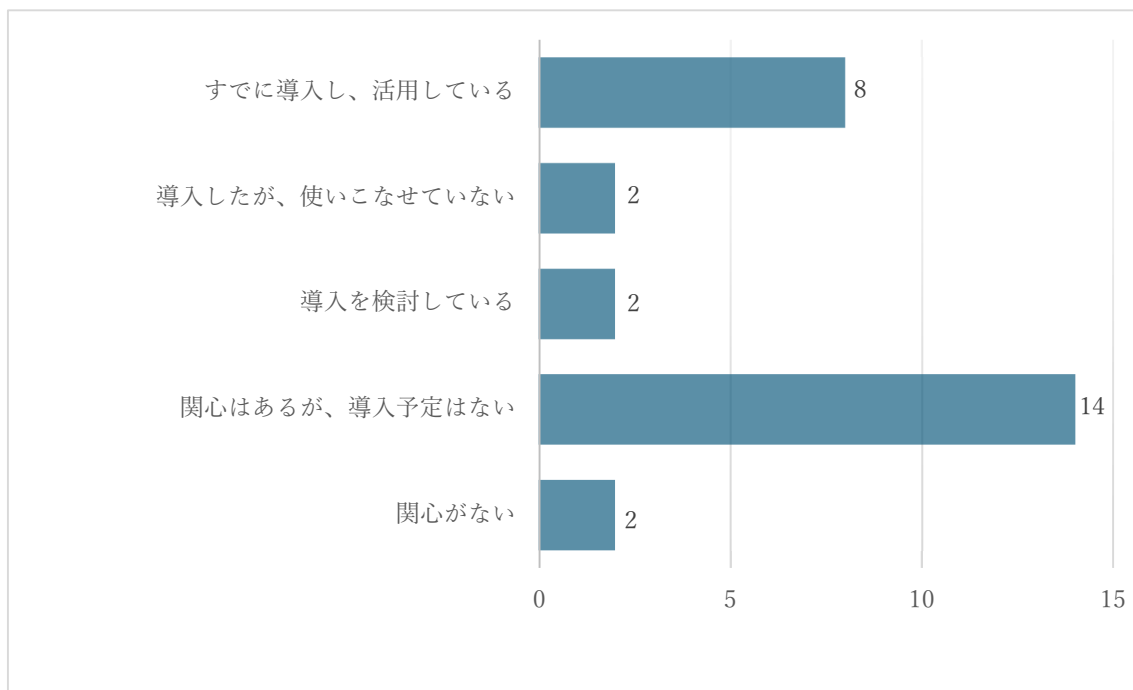


その他のご意見

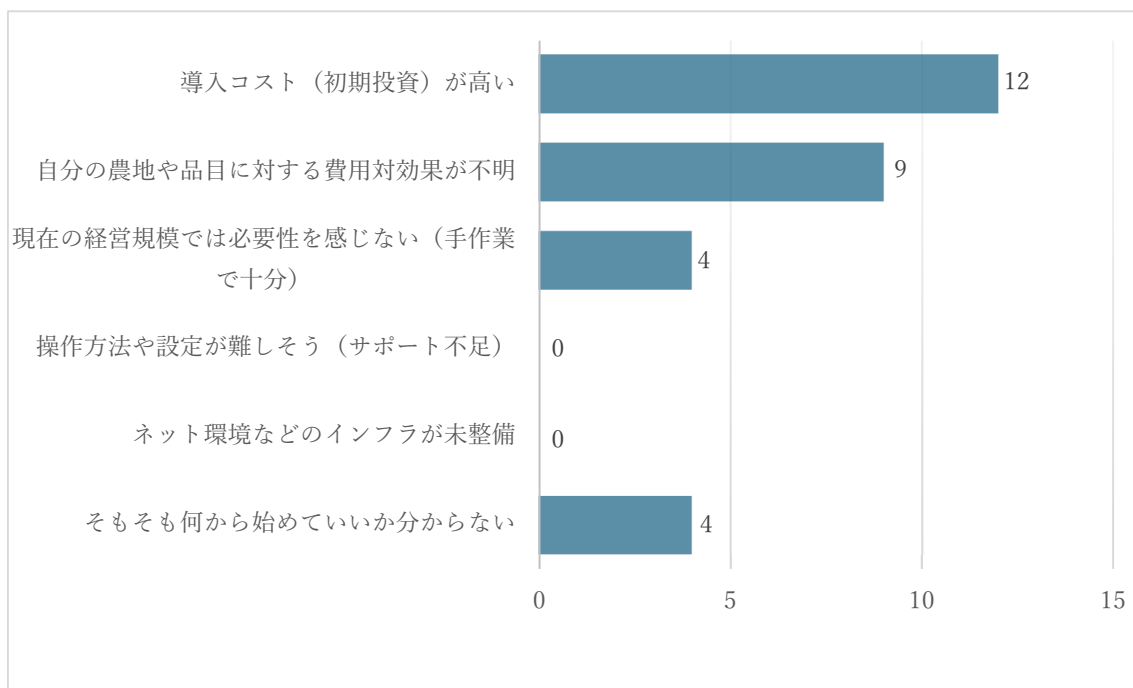
税金（固定資産税等）
農薬

第4部 スマート農業・デジタル化の推進について

スマート農業技術（自動灌水、ドローン、環境制御、販売管理ソフト等）の導入状況・意向を教えてください。

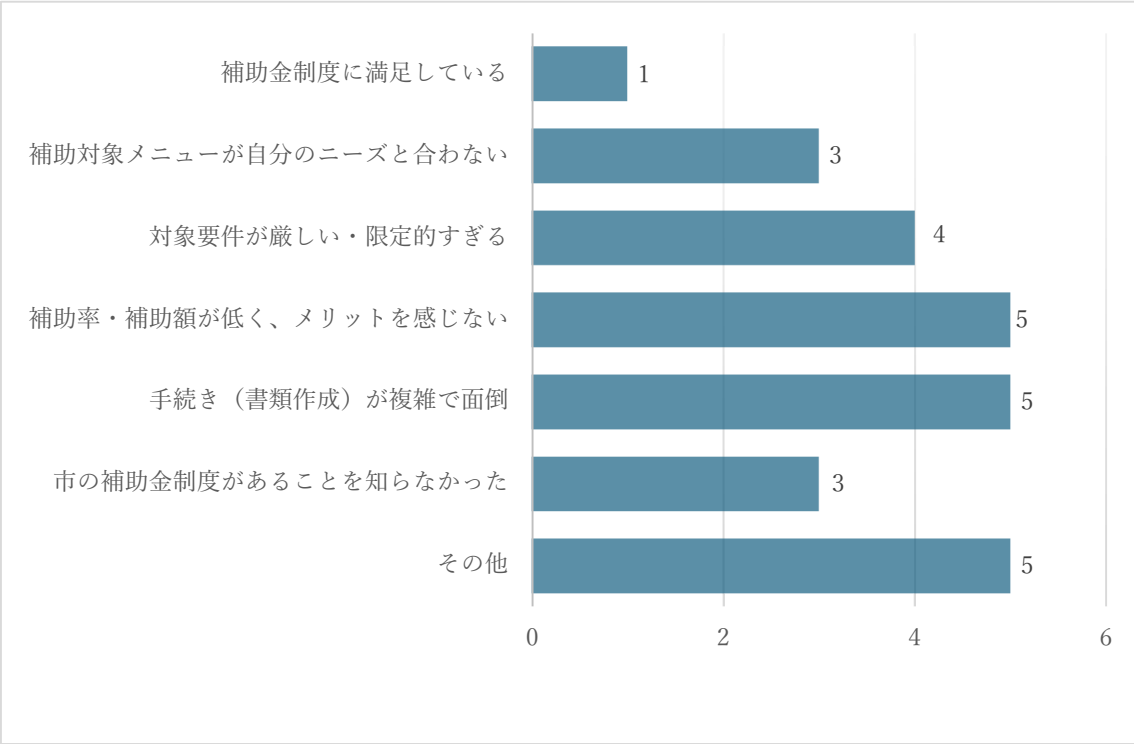


スマート農業やデジタル機器の導入を進める上での「一番の壁」は何ですか。



第5部 支援制度（補助金）について

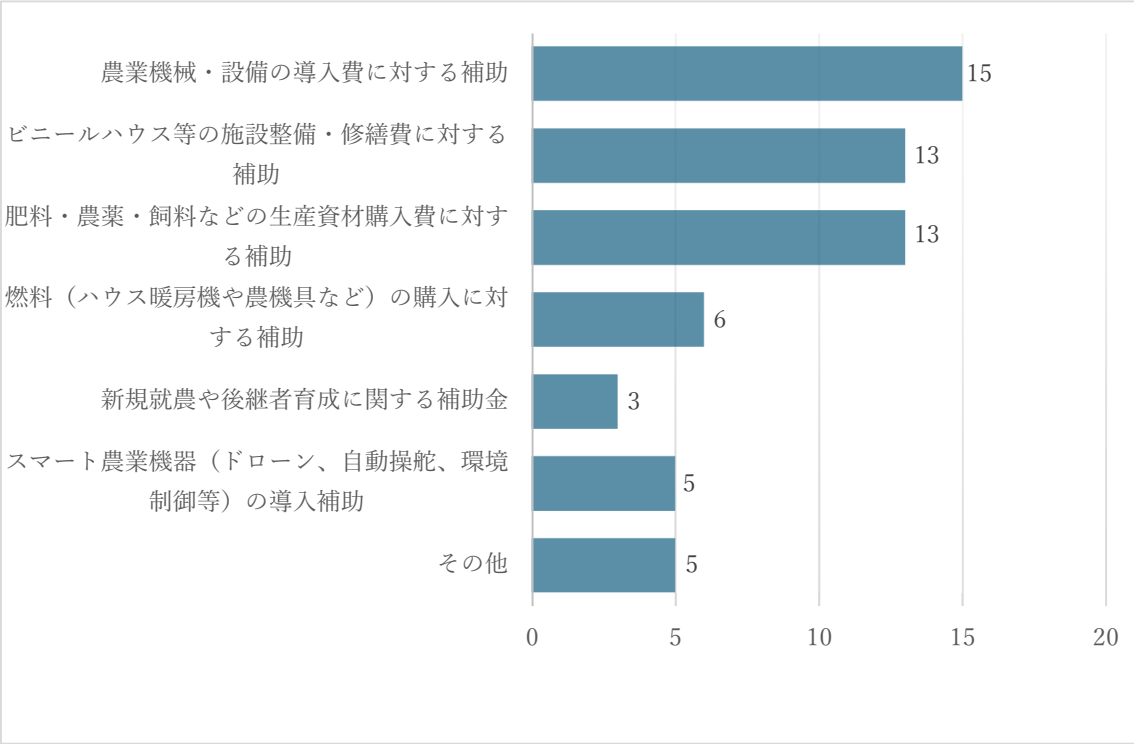
市の既存の農業者向け補助金に対する意見・課題を教えてください。



その他のご意見

補助金制度を知っていても対象がよくわからない。周知出来ていない。
受付期間が短く、知ってからだと対応しづらい。
導入後に補助金の事を知ることが多い。
植木生産、販売に対する制度が少ない。また、使いづらい。

今後、市に新設・拡充してほしい補助金はどのようなものですか。（最大3つまで）

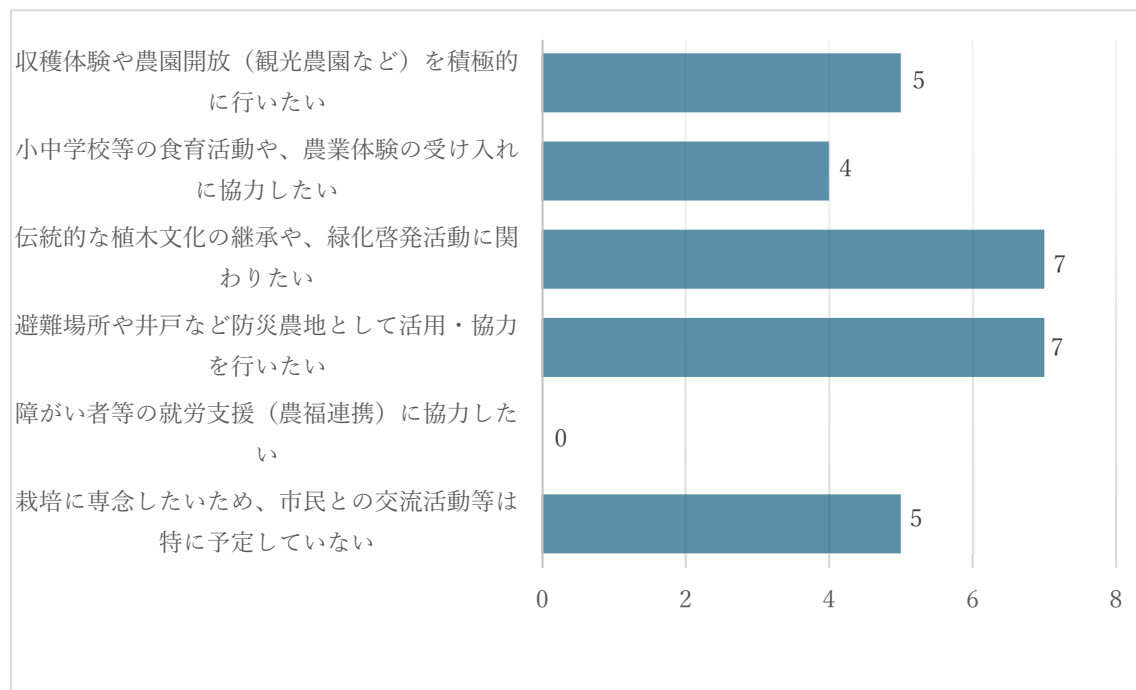


その他のご意見

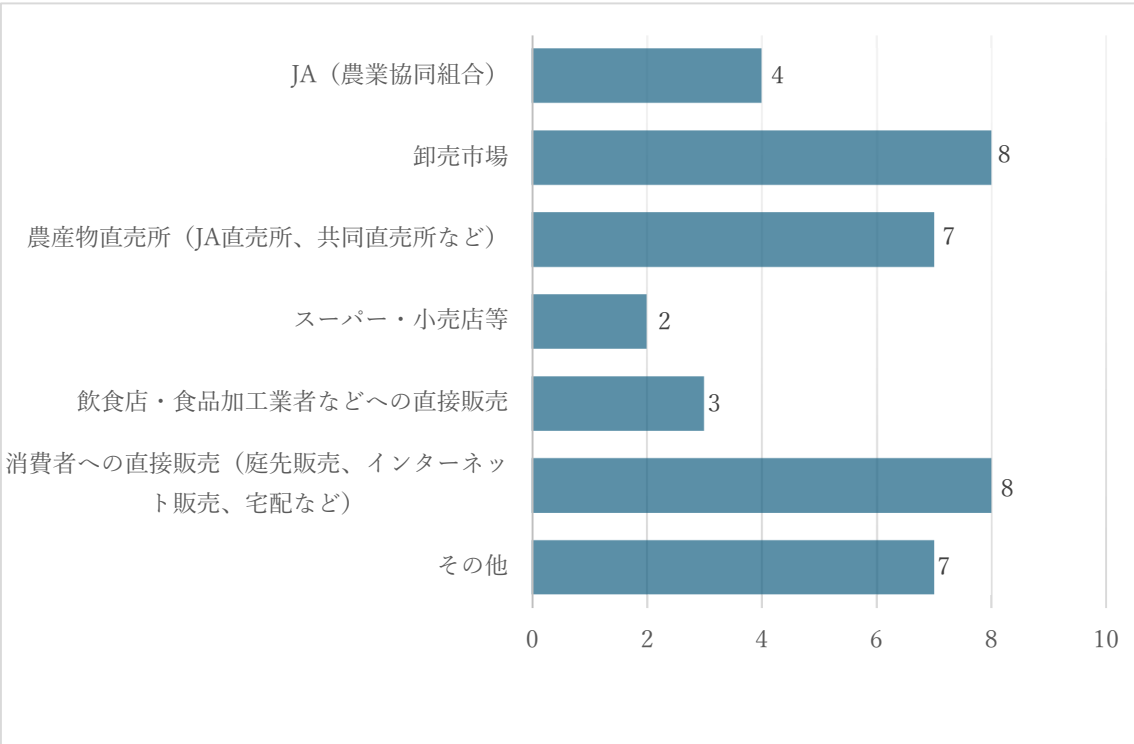
農地改善、修復費用
圃場整備への補助金（ 荒廃農地が増えているため ）
経営に関して外部との意見を交換したい。同じ業種にいと井の中の蛙になりやすい。自分の常識が非常識であれば、気づくきっかけが欲しい。
市内の農業発展に結び付くであろうイベントへの補助金

第6部 市民との交流、地産地消・販路拡大、その他意見・要望について

市民（消費者）との交流や、農業の機能（景観・教育・防災等）の維持についてどのようにお考えですか。（複数回答可）



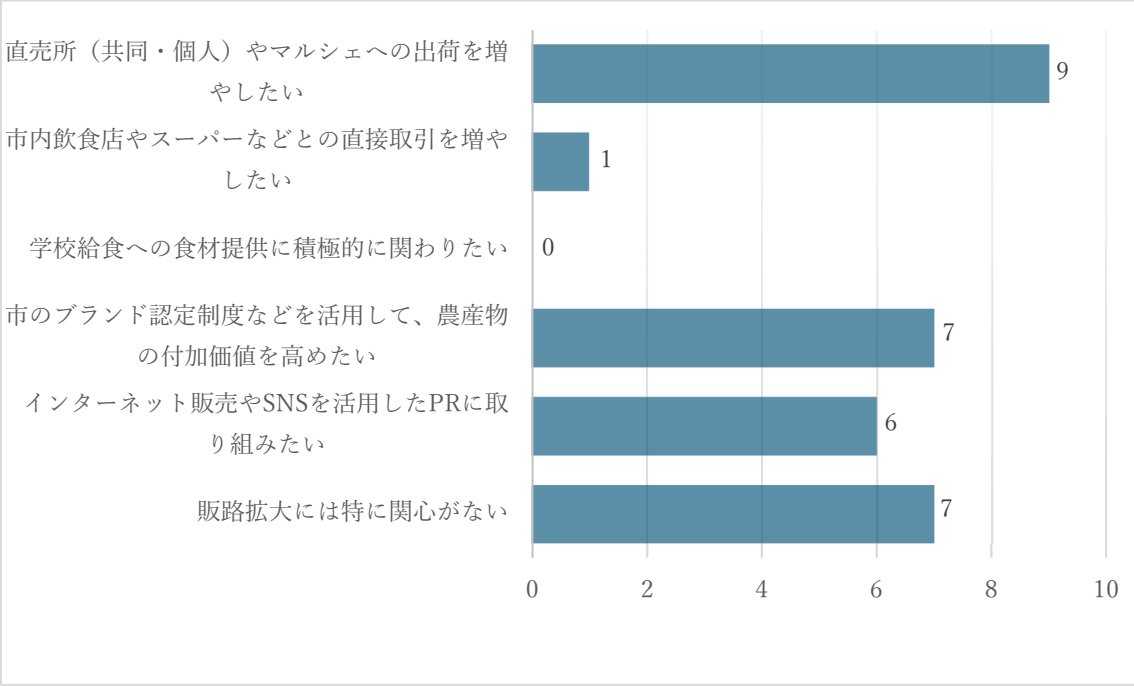
現在の主な「出荷先（販売先）」を教えてください。（複数回答可）



その他のご意見

卸問屋等を通して、最終的にはデベロッパーへ
自店舗での卸売
個人への対面販売
同業者
業界内問屋
販売はしていない

地産地消の推進や、今後の販路拡大についてどのようにお考えですか。（複数回答可）



市の農業行政全般へのご意見・ご要望がございましたらご記入ください。（自由記述）

農家からの税収は少ないのかもしれないが、助成補助が欲しいです。 直売所や市民農園貸出は、良い活動と思いますが、B to C より B to B で商売している人に手助けがあると嬉しいです。
農業者や消費者のコミュニケーションをとり意見や現状を理解し、川口の農業経営や農産物のPR活動を含めた幅広い支援、協力、相談窓口や活動を希望します。
植木、苗木を作っても売れず、管理(剪定・除草等)するだけで大変です。
生産緑地法などが作られた当時と、現在の日本、川口に必ずしもマッチした事ばかりとは言えないので、市の単位でルールを変えられる点などは一度見直し時期ではないかと思います。
地場産業の植木、花卉では赤字経営が続いている状況で、収益が上がらない。年々植木畑など管理せず、荒廃農地が増加している。さらに高齢化が進み、後継者も不足している。新たな農地の土地利用計画することが、近々の課題である。
法人化した植木造園、土木、建設型農業と、個人経営自宅周辺畑を中心とした生産農家を別けて考えたほうがよいと思います。
もっと川口市内農業従事者の現実を見て話を聞いた方がいいと思います。 後継者がいない、未定の中、今後の農地、調整区域の行く末についてもっと話をしたいです。
肥料、農薬、小農機械など、ハウスのビニールや寒冷紗、暖房ハウスの燃油の補助金を出してほしい。